

高瀬神社 社報

VOL. 71
令和3年10月1日

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>

十月・十一月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日／九月は二日のみ）

村祭り（十月三日）

神嘗奉祝祭（十月十七日）

明治節祭（十一月三日）

神明宮例祭（十一月十三日）

七五三祝祭（十一月十五日）

新嘗祭（十一月二十三回）

稔りの秋に感謝。

新嘗祭、神嘗奉祝祭、献穀田の拔穂祭！。
今年の豊穰をお祝いしましょう。

撮影：藤井秀聡



早朝の境内で

宮司 藤井 秀嗣

私の一日は産土さま「雄神社」のお勤め（開殿）から始まります。山の麓にある境内は豊かな緑と桜や山吹、紫陽花など四季折々の美しい草木に囲まれています。

早朝の境内は野鳥の優しい鳴き声や、今は蝉の囁きが聞こえています。数年前から熊やイノシシの出没を心配する事態となっているので、早朝夕刻は周囲を気にしながら階段を上がり、拝殿に向かいます。

先日、階段を上がりきろうとしたとき、なにか動物らしきものが走っていることに気がつきました。これまで動物に遭遇したことはなく、私は一瞬、身構えました。「来るなら来い。」という気持ちになりましたが、よく見るとそれはモフモフの可愛いリスでした。それも大小あわせて五、六匹おりました。多分、家族と思われれます。

境内をところ狭しと駆け巡り、大木をスイスイ登って、枝から枝へ見事に飛び移り、ものすごいスピードで追いかけてっをしていました。拝殿前に座り、感心しながら、しばらくその様子を見ていました。リスたちは恐れることもなく私の足元までやってきました。見ていて気持ちの良い走りっぷりでした。このリスたちにはストレスなんてあるのだろうか。羨ましく思っているうちに満足したのか、大きいリス（親か）が先導して山のほうへ帰って行きました。

その頃、巷はオリンピックとコロナの騒ぎで、獲得メダル数と感染者数が、日を追うごとに増えて行きました。ついに八月二十日から富山県も「まん延防止等重点措置区域」に指定され、不要不急の外出自粛など、更に強化されることとな

りました。そのうちにパラリンピックが始まり、学校も始まることに。感染拡大が懸念される今日、二学期早々の行事、運動会も中止の可能性大と聞きます。感染者数も心配ですが、子供たちの肉体的、精神的ストレスの更なる蓄積も心配です。

その後、あのリス家族は姿を現しません。人間社会の悪いウイルスを貰っちゃいけないと感じているのかもしれない。私たち人間もここは割り切りが肝心、感染防止対策を徹底して感染拡大を抑える努力をしなければならぬでしょう。

境内を駆け巡っていたリスたちのように、何のためらいもなく、みんなでワイワイと思いきり楽しめる日が早くやって来るように祈りつつ、そして私は、あのリスたちとの再会を楽しみにして、これからも慎みをもって生活して行きたいと思えます。

（八月二十五日記）



夏越の大祓 あわせて茅の輪神事齋行

毎年六月の大祓にあわせて行われる「茅の輪神事」は、私達が日々を送る中で知らず知らずのうちに犯した罪穢れを祓い清め、清浄な心身に立ち返った上で新しい生活に臨む為の、我が国の大切な年中行事です。この日は、感染症拡大防止の観点から式へのご参列を極力お控えいただきましたが、ご参集の皆様は祭員に続いて茅の輪ををくぐり、心静かに残り半年間の健康と平穏を祈りました。

例祭齋行

—「浦安の舞」に祈りを込めて—

秋風の渡る九月十三日、高瀬の大神様のご神恩への感謝を込め、世の平穏と更なる繁栄を祈る、ひととせに一度の例祭を厳肅裡に齋行しました。

感染症拡大防止を第一に、昨年に引き続き規模をおさえての祭典となりましたが、本年も関係各位のご協力のもと、滞りなく齋行しました。神賑行事には、地元南砺市の



天地の神にぞ祈る朝風の海のごとくに波たたぬ世を

波のない穏やかな海のように、末永く平穏な世が続くようにと祈りの込められたこの「浦安の舞」は、皇紀二六〇〇年を奉祝し、昭和十五年、昭和天皇の御製に曲と舞を付け完成した神前神楽です。

世界が混乱の中にある今、ご参列の皆様は、厳かに奉奏される「浦安の舞」に思いを重ね、高瀬の大神様のご神恩に感謝の念を込めつつ大前に玉串を奉りました。



厳かに奉奏される「浦安の舞」

英霊に想いをよせて

御本殿の祭儀に続いて執り行われた功霊殿の例祭には、井波松風会の皆様による吟詠、明治天皇御製「神祇」、乃木希典作「凱旋」の二曲が奉納され、拝殿はひととき、英霊への奉謝の想いにあふれました。



井波松風会による吟詠奉納



高瀬稻荷社例祭齋行

この時季特有の急な強い雨が心配された六月三十日、末社「高瀬稻荷社」の例祭を齋行しました。

一般的に赤い鳥居で知られる稻荷神社は、商売繁盛・五穀豊穡の社として崇敬を集めており、高瀬稻荷社でもこの日、感染症拡大の影響下にあつてなお力強く歩み続ける、講員皆様の事業の繁栄と業務の安全を滞りなく祈念しました。高瀬神社では毎朝の日供祭に併せて、この新型ウイルスによる感染症の早期終息を祈念しています。

大神様のご加護がありますように。





心を込めて、人形感謝祭。

蝉しぐれの降りそそぐ七月二十四日、役目を終えた人形に感謝し、お焚き上げをする神事、「人形感謝祭」を斎行しました。

当日は、長く親しまれ愛されてきた日本人形やぬいぐるみ、ひな人形など多くの人形が丁寧に飾られ、ご参拝の皆様は共に過ごした日々を思いをめぐらせ、ご神前を通して人形達に「ありがとう」の気持ちを伝えました。

「人形感謝祭」は毎年七月にご奉仕しています。



牛島 辰馬

松本 昌子

飛騨山静恵

笹波 美恵

安達 陽子

川原 るみ

中林 雅代

熊野 幸子

開催期間 七月二十三日～二十五日

会場 高瀬神社参集殿

総合監修 梅崎親美(オーバル)

写真 荒井恒雄

協力 キノネ工房

上平生花クラブ

第二十二回
人形展
一期一会

県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部秀抱会とが織りなす、創作人形といけばなの展覧会が、本年も華やかに開催されました。

期間中、ご来場の皆様には感染防止対策へのご協力をいただき、盛況のうちに無事、会期を終えることが出来ました。



南部 祥雲

横堀貴美子

笹川むもん

辻 和志

中嶋外志男

千代拍

長谷川由美子

床 サユリ

中山朱津子



七夕の短冊に願いを込めて
 日本らしい習慣として、全国的に取り組みの始まっている「夏詣」で境内の賑わう七月七日、七夕の祭事に併せて、織姫の優れた機織りの手わざにあやかり手習い事の上達を祈願する、「技芸上達祈願祭」を斎行しました。

また「夏詣」の最終日にあたるこの日、本行事の終了についても併せてご神前に奉告しました。

七夕祭並びに 技芸上達祈願祭



大輪あさがお展

高瀬の夏に笑顔の花を

今年も八月六日から九日の四日間にわたり、夏の恒例行事「大輪あさがお展」が開催されました。

この展示会を主催し、朝顔を出品した南砺あさがお会（森田光正会長）会員の皆様の案内により、色鮮やかな朝顔の魅力に触れた来場者は、ひととき真夏の暑さを忘れ、大輪の笑顔の花を咲かせているかのようでした。



献穀田だより

除熱祭斎行

二十四節気のひとつである「大暑」を翌日に控えた七月二十一日、農作物が夏の暑さに負けることなく、無事に五穀豊穡の秋を迎えられるよう大神様に祈念する「除熱祭」を斎行しました。

祭典後、禰宜が高瀬神社献穀田に赴き、大前にて稲の順調な生育を祈願した御幣串を刺し立て、健やかに育つ青い穂波を祓い清めました。

また、当日の夕刻には、田畑への災いを打ち払うかのごとく、氏子の練り回しによる「熱送り太鼓」の勇壮な打音が村中に響き渡りました。



安産祈願 戌の日カレンダー

令和3年	10月	5日・17日・29日	1月	9日・21日	
	11月	10日・22日	令和4年	2月	2日・14日・26日
	12月	4日・16日・28日		3月	10日・22日

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。



お子様の健やかなご成長を祈って
 かわいいお子様の成長を祝い、ご家族
 おそろいでお参り下さい。

期 間 10月1日(金)～11月30日(火)
 受付時間 午前9時～午後4時30分まで
 ご祈祷料 お1人につき5,000円より

7歳(女児) 平成27年生まれ
 5歳(男児) 平成29年生まれ
 3歳(男女) 平成31年 令和元年生まれ
 (数え年)

心のふるさとを写真で
 伊勢の神宮への参拝がま
 まならない昨今、当社社で
 は約二週間に亘り、四季
 折々の神宮の表情を捉え
 た、貴重な写真の数々を展
 示しました。
 伊勢に行きたい
 伊勢路が見たい
 せめて一生に一度でも
 お伊勢さんにはきつと、
 決してリモートだけでは伝
 わらない、特別な何かがあ
 るでしょう。



五十年の歳月を経て損傷の著しい銅板屋根



◎お願い事を記してお納めいただく「銅板奉納」も承っております。
 ◎詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。
 電話〇七六三(八二)〇九三二

- 一、募金実施期間 令和五年十二月末まで
- 一、工期 令和五年春より同年秋季竣工予定
- 一、募金目標額 五〇,〇〇〇,〇〇〇円
- 一、募金実施期間 令和五年十二月末まで

高瀬神社では、経年により傷みの進行した御社殿屋根の葺き替え工事を、令和五年に予定しております。高瀬の大神様のさらなる御神威の宣揚と、誠心の籠った御社殿の末永い護持の為、あたたかいご奉賛を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

御社殿屋根
 修復事業 ご奉賛のお願い

令和4年 厄年・身祝一覧

〈厄年〉数え年

	前 厄		本 厄		後 厄	
男	24歳	平成11年(卯)	25歳	平成10年(寅)	26歳	平成9年(丑)
	41歳	昭和57年(戌)	42歳	昭和56年(酉)	43歳	昭和55年(申)
	*60歳	昭和38年(卯)	*61歳	昭和37年(寅)	*62歳	昭和36年(丑)
女	18歳	平成17年(酉)	19歳	平成16年(申)	20歳	平成15年(未)
	32歳	平成3年(未)	33歳	平成2年(午)	34歳	昭和64年(巳) 平成元年
	*36歳	昭和62年(卯)	*37歳	昭和61年(寅)	*38歳	昭和60年(丑)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。
 *…この年を厄とする地域もあります。

〈身祝〉数え年

	年齢	生まれ年
還暦	61歳	昭和37年(寅)
古希	70歳	昭和28年(巳)
喜寿	77歳	昭和21年(戌)
傘寿	80歳	昭和18年(未)
米寿	88歳	昭和10年(亥)
卒寿	90歳	昭和8年(酉)
白寿	99歳	大正13年(子)

※男女ともに祝います。

シリーズ

大国さまの

牛嶽社めぐり

第二回 山田郷総社(鍋谷) 牛嶽社

鍋谷なべだ牛嶽社の鎮座地である山田村内には牛嶽社が十六社ありました。住民の離村により廃村となつて鍋谷・居舟・赤目谷・湯・小島・白井谷・沼又・牧・今山田・宿坊地区の十社となり、その後、鍋谷の牛嶽社も離村により雄神神社(砺波市庄川町庄)に合祀されました。

鍋谷の社は山田村の旧郷三十三ヶ村の総社で、昭和五十九年七月まで山頂に鎮座する牛嶽大明神の御神体をお祀りするなど、地域の重要な神社でありました。

鎮座年月日は不明ですが、貞享年間、宝暦年間に両度、神社御調に記載があり、特殊

神事として十年に一度、牛岳山頂の御遷座が行われていました。



鬱蒼とした参道の入口に立つ牛嶽社の鳥居

神社名	牛嶽社
鎮座地	富山市 山田鍋谷
御祭神	大己貴命
宮司	藤井秀弘
境内地	一五八坪

令和四年 初詣献灯のご案内

高瀬神社では、初詣期間の正参道を飾る提灯の奉納をご案内しています。大神様の更なるご加護と、来たる新年が尚一層輝かしい一年となりますよう祈りを捧げ、奉納願います。

※記載芳名

例(約八文字)

一、会社

南砺市 (株)高瀬
高瀬産業株式会社

二、個人

高瀬 高瀬太郎
高瀬 太郎



- 一、献灯期間 正月七日まで
- 一、献灯料 一基一万円
- 一、申込期限 十一月三十日
- お申込みの方の案内安全・商売繁盛の祈願祭をご奉仕致します。
- 詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。

しめなわ 注連縄奉納のご案内

高瀬神社注連縄奉納講では、毎年、新年に向けてご社殿の注連縄のかけ替えを実施しています。真新しい注連縄に祈りを込めて、清々しい新年をお迎え下さい。

- 一口 10,000円
- お申込み期限 令和3年10月31日
- ご奉賛者様のお名前・お願い事を記した紙を注連縄に縋り込み、ご神前に掲げます。
- お申込み・お問合せは社務所まで。

電話 0763 (82) 0932

新型コロナウイルス

感染症拡大防止 対策について

当神社では、感染症拡大防止対策として、拜殿に次亜塩素酸空気清浄機・飛沫感染防止パーテーションを設置、また申込書ご記入に際しましても、各々に新品のボールペンをご用意し、ご使用後にお持ち帰りいただいております。どうぞ安心してご祈禱をお受け下さい。





大国さまの処方せん②

「症状が出る前に、諸検査を！」

南砺市民病院 副院長 浦出 雅昭

「一の宮」とは、古代の律令制の頃の諸国を代表する神社のことであろう。文字どおり、「その国いちのお宮さん」という意味であり、能登の国ならば羽咋の「氣多大社」、加賀の国なら鶴来の「白山比咩神社」、越前の国ならば敦賀の「氣比神宮」、そして越中の国ならば、ここの南砺の「高瀬神社」である。北陸に残る「一の宮」は、どこも緑が美しく、静かで、そして厳かな雰囲気包まれている。八乙女山の麓から流れる大門川は、高瀬神社の鳥居の前を通る。大門川は、春には桜並木が咲き誇り、初夏には蛍が飛び交う。周囲の田園地帯には、芍薬、立葵、芙蓉や木槿などが次々に咲く。雪の下から「青い麦」がスクスクと伸びて、ついには「麦秋」を迎えるさまも毎年毎年、素晴らし。実りの秋になれば、この社は、黄金色の稲穂に囲まれ、厳冬

の朝には、大門川の上に見事な川霧が現れる。越中の高瀬の里はきつと、いにしへの昔から美しかったのになかろうか。高瀬の里だけに限らず、高瀬神社を我々が「一の宮」と仰ぐ、周辺の「となみ野」一帯もまた、古代からずっと美しく、自然美と田園風景（人工美）とが、この南砺市には現存している。散居村の屋敷林（かいによ）の景色は、医王山の夕霧峠から、とか、閑乗寺公園から、など、「上からの眺め」が全国的に有名であるが、私は「下からの眺め」もまた美しいと思う。天気の良い朝など、閑乗寺公園から右へ「八乙女山」、奥の「人形山」、「はかまこし山」、更に右へぐるぐると、医王山へとまるで「青い山脈」のように山々が連なっている。となくみ野の家々を、一軒一軒、守っている木々（かいによ）の緑の

美しさは、この山々を背景にすると、よりいっそう美しく見えることに気がついた。手前の明るくて柔らかな緑色（木々）が、後ろの深い緑色（山々）のおかげで、くっきりと際立って見える。するところ、かいによの木々の枝の一本一本、そのシルエットがあまりに鮮やかなので、木々の先端の葉っぱに至るまで生命力が行き渡っていることがわかるのである。惜しむらくは、この十年余りの間にも、かいによの木々の数は、少しずつ減ってきている。あぜ道に咲く花々の数も心なしか減ってははいまいか？ 蛍の数はきつと、昔のほうがいいかと多かつたのだから。山々の「自然美」は古代から変わらせずに悠久であるが、人々の営みによって作られた「人工美」としての田園風景もまた、悠久であってほしい。

さて、波乱に満ちた二十世紀の現在こそ、大国さま（大国主命）の靈験あらたかなることを、切に願うものではない。神頼みにしてはいけぬのが、二十世紀の医療である。

「二十一世紀は癌の世紀」

であり、長生きすれば誰でもが癌になる可能性はある。血筋とか遺伝などではなく、誰もが罹患する、ごく普通の病気（common disease）なのである。かく言う私も、家族や親戚、先輩医師、高校時代の親友、後輩の医師などを、次々と癌で失った。一方で、治療によって助かった人々も多い。癌に負けないためには、検査を受けることが一番である。検査しても何も無ければ、安心を得られる。万が一見つかったとしても、早期発見ならば、手術が要らない場合もある。私の本職は外科であり、癌を切除することを生業としてきたが、外科手術には回らずに内科だけで治ることを目指している。願わくは、地域住民の方々が積極的に検査をお受

けになり、御本人も、そしてまたその御家族も、末永く幸せに暮らしてゆかれることを、一の宮の大国さまに祈願したい。

浦出雅昭 先生

南砺市民病院 副院長
外科部長

金沢大学医学部卒業。
医学博士（金沢の大学院）
石川県小松市生まれ。金沢市、富山市、輪島市、京都市などを転々として、金沢に戻る。日本外科学会の専門医および指導医。日本消化器外科学会の専門医および指導医。

医薬医療の神として知られる大国主命（大国さま）のご神徳にちなみ、前号より連載をスタートしたこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。



殿い。すめ歯方に
昇食す。ま込の
ごお石。ま込の望
て、めい。生い。希
りに固。が願。ご
にに。歯。の。ご
参らん。ち。の。ご
宮の。か。の。儀。し
初赤。め。の。夫。の。う
の初。お。の。う。行。め。し
の初。お。の。う。行。め。し



結びの杜の神前式

縁結びの神様、大国主命をお祭りする越中一宮。

日常を隔てる境内で、玉砂利を踏みしめて歩く参進の儀に始まり、社殿に響き渡る雅楽の調べの中、厳かな神前式が執り行われます。

大国様の「結び」の御神徳によりお二人だけではなく、両家の絆も固く結ばれます。



四季折々の境内で
ロケーションフォトを満喫



一日一組限定の
おもてなし

完全なプライベート空間で
和やかな宴会が実現

すべては一組の
新たな夫婦の幸福のために



二人だけでも結婚式はできます。

「だったら、家族は欠かせないかな。」

「折角だから、親戚のみなさんだけでも。」

「できれば、近くに住む友人くらいは…」

列席を減らすのではなく、無理なく増やす。

そんな考え方で結婚式を叶えてみませんか。

挙式のみ

少人数会食

高瀬神社は結婚されるすべての方を

歓迎しています。

結婚式をあきらめないでください

